

RKK Group Magazine りゅうかい

# RYUKAI



2017 No.282  
夏季号

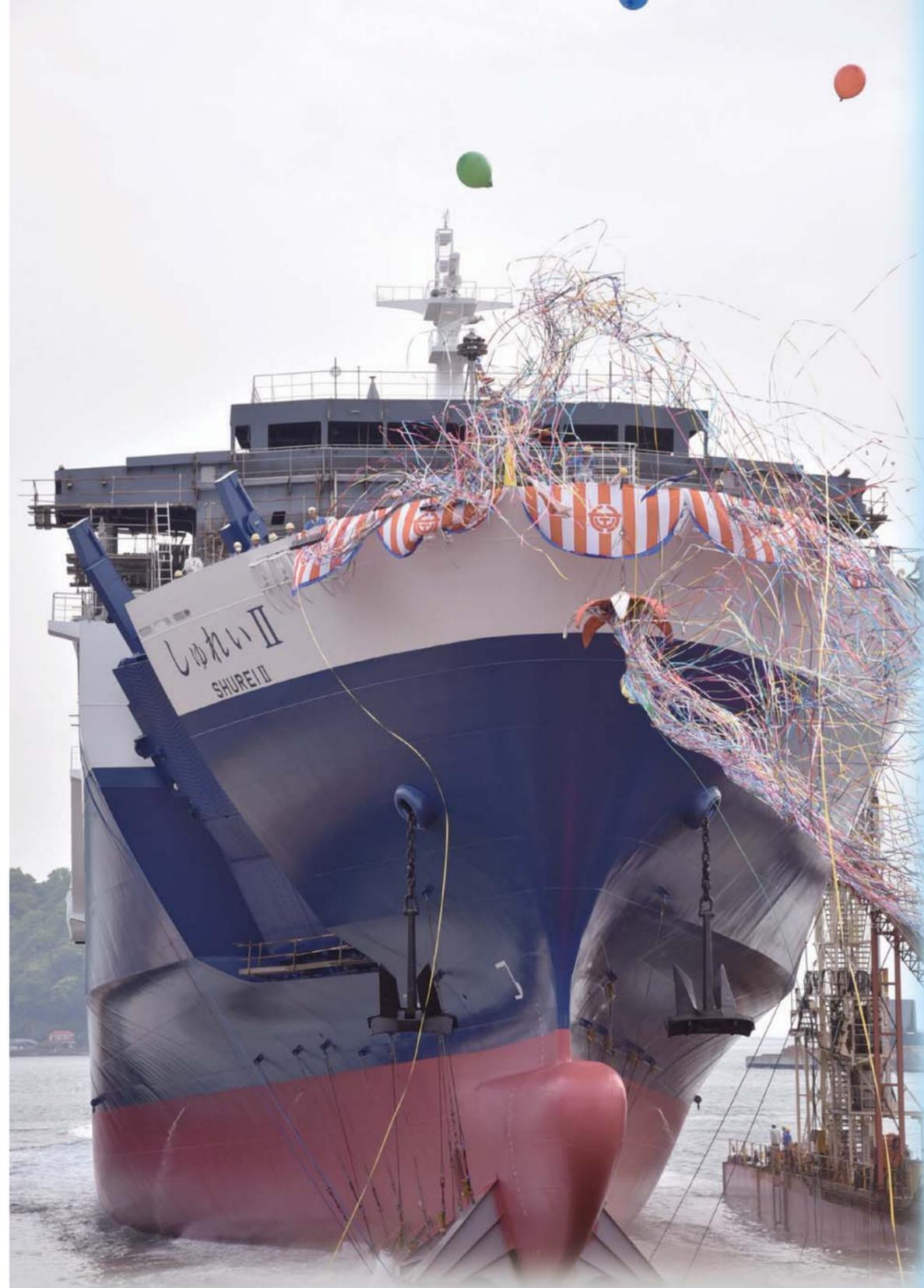


しゅれい  
17年間ありがとう。

夢と暮らしと文化をはこぶ  
 琉球海運株式会社

琉球海運グループ

沖縄港運(株)	宮古港運(株)	八重山港運(株)	沖縄荷役サービス(株)	(株) 沖縄急送
(株) 沖縄輸送サービス	(株) 九州輸送サービス	(株) きょうはい	国際輸送(株)	琉海リース(株)



# しゅれいⅡ 進水式

平成29年4月27日

# トツプ エッセイ

## 私と酒場

八重山港運株式会社  
代表取締役社長 我那覇 宗善



酔うために飲むのが、酒を飲む単  
純な理由であると思う。どのような  
時かといえば、楽しいときとか、悲し  
いときとか諸々。酔いにも程度の差  
と個人差もあるかと思うが、酩酊す  
るまで飲んでいいことはほとんど何  
も無いと思う。酩酊しない程度なら  
血流の好循環によって、場合によつ

ては頭の働きも、弁舌も好転するこ  
ともあるかも知れない。(やや希望的  
観測とは思っているが・・・)  
そういうことで、私と酒場との関  
わりを今までの勤務地(大阪・福岡・  
石垣)での経験を絡めながら述べて  
みたいと思います。  
昭和六十年から四十九年間琉球海運

大阪支店で勤務しました。その時通  
った酒場は高級な店が多い北の新地  
から、庶民的な難波までという感じ  
です。  
北の新地に通称「万歳の店」という  
飲み屋さんがありました。この店は  
特に高級な店という訳ではありません  
でした。夫婦で経営していた店で、

そこに私らが泡盛を持ち込んだこと  
により、地元を含め多数のファンが  
集まり、大繁盛した店でした。

平成九年から十三年間は福岡でし  
た。福岡の酒場といえば、天下の中洲  
です。

満喫しています。石垣の勝れている  
ところは、地の利です。何しろ近場に  
歓楽街がある。すぐに飲み始めるも  
よし、一旦家に帰って一風呂浴びて  
からとか、場合によっては夕食を済  
ませてからでも十分に間に合います。

どうして「万歳の店」だったのか、  
それはカラオケを歌い終わった後に  
必ず万歳三唱をするのです。そこに  
居る客(場合によっては十数名)が音  
頭を合わせて三唱するのだから、実  
に壮観です。カラオケの順番はなか  
なか回ってこないのに、万歳三唱だ  
けでいつも声はガラガラでした。し  
かし、その場の一体感は素晴らしい  
もので、会社関連のお客さんも多数  
その店に結集し、まさに社交の場で  
す。因みに料金も一人食事込みで千  
円。一次会は取り敢えず、居酒屋とい  
うパターンも必要ありませんでした。  
その店の経営者は安い料金で、  
回転率を上げてと考えてのことだっ  
たと思いますが、居心地が良すぎて  
中々帰らない客が多かったような気  
がします。今でも忘れ得ぬ店です。

中洲は「女を泣かす」(ナカス)なの  
か、「女は泣かず」の(ナカズ)なのか  
それぞれ主張があるようです。中洲  
で老舗みたいな年配の方がやってい  
る店に何件か行きました。請求書で  
支払というパターンの時にはほとん  
ど必ず手紙が入っています。「数多い  
中洲の店の中から当店を選んでくれ  
て、有り難う」というのです。悪い気  
はしません。(特に選んで行った訳で  
はないのですが)とも言いません。  
中洲でもう一軒、沖縄の人がやっ  
ている店がありました。当時私は未  
成年の息子・娘と赴任中でした。親  
子三人でよくその店に出かけたもの  
です。周りの人は少々呆れてはいま  
したが、暖かく見守ってくれていま  
した。今でも感謝しています。  
平成二十三年から石垣の美崎町を

石垣の漸進な居酒屋で昼の三時か  
ら開店する店があつて、何度か休日  
のスポーツ後に利用しています。料  
理も含めて、全く不満は無いのです  
が、三時から飲み始めても、結局終わ  
りは夜中の零時ごろまでとなつてし  
まいます。自己責任ではありますが、  
困ったものです。  
おわりに、飲酒そのものから何か  
を学べたか自信はありませんが、酒  
の場に人がいてコミュニケーション  
があります。酒抜きでは起こり得な  
い効用が必ずあることを信じて、今  
宵もまた出かけますか。

# INTERVIEW

## 「夢とくらしと文化を運ぶ」

八重山港運株式会社 島尻 高樹



今年四月から当社営業部、島尻高樹さんが八重山毎日新聞の月に一度「日曜随筆」というコーナーでとりあげられています。現在二回の掲載がありました。まず「夢とくらしと文化を運ぶ」が第一回目四／二十三に掲載され、次に「国境なき世界」が第二回目六／四に掲載されました。今回はその第一回目の「夢とくらしと文化を運ぶ」を掲載したいと思います。素晴らしい内容となっておりますので是非、ご一読ください。

総務部 山城

八重山諸島の玄関口ともいわれる石垣港に大型貨物船が入港し、フォークリフトやトレーラーが船内へと進入していき、コンテナを次々に降ろしていき。いわゆる荷役作業というものだ。荷役作業には、時間が限られている中にスピードと確実性を余儀なくされる中で安全面にも気を使わなければならない。彼らの作業

姿を見て、興奮したのと同時にこの仕事に魅力を感じた瞬間でもあった。

八重山港運(株)(琉球海運八重山地区代理店)は、私が勤めている会社で、この島に必要な生活物資から建築資材、商品車輛など、さまざまな貨物を荷主に届けている。いわゆる、物流業という人と人をつなげる大事な役割を

果たしているのだ。戦後間もない頃に、沖繩に一隻の船を誕生させた。当時はアメリカが沖繩を支配していた為、政治、経済、教育、多方面において米軍主導で政策が打ち出され、様々な分野の事業が再建した時期だった。米軍基地の拡大強化のもとに軍工事が急ピッチで繰り広げられた事や、民間貿易の再開によって大量物資が沖繩に流入し、沖繩の戦後復興に大きく貢献していき時代の先駆けとなる船出の旅が始まったのである。

この石垣島にも、大型スーパーや、コンビニ、ホテルやマンションも増えてきている中、毎日大量に物資が流入してきている。ひとつひとつを大切に荷主まで届けることによつて、この仕事の重要さや、やりがいを感じる瞬間が私に

もつて情熱あふれる日々を過ごさせている。今日も進んでいく、荒波が押し寄せようとも握りしめた舵をとり、これからも、皆への「夢とくらしと文化」をお届けしたい。

は珍しく当時の旅行の移動手段としては船が主流だったため、観光客や集団就職、中学生による修学旅行も船での移動が当たり前にあったのであった。

と、先人たちの忍耐と、たえまぬ努力のおかげで、私は今もこうして仕事ができていると思うと、感謝の気持ちでいっぱいである。先人たちが作り上げてきた時代から、舵を引き継ぎ、現在(いま)の時代を生きる私達は、この舵をしっかりと握りしめ、人々の為に走り続けなければならない

この石垣島にも、大型スーパーや、コンビニ、ホテルやマンションも増えてきている中、毎日大量に物資が流入してきている。ひとつひとつを大切に荷主まで届けることによつて、この仕事の重要さや、やりがいを感じる瞬間が私に

もつて情熱あふれる日々を過ごさせている。今日も進んでいく、荒波が押し寄せようとも握りしめた舵をとり、これからも、皆への「夢とくらしと文化」をお届けしたい。

こうした背景から、物資だけでなく旅客として学生の教育にも大きな役割を果たし、沖繩にとつてなくてはならない存在へと変貌を遂げていくのであった。

幸先のよい船出から、旅は安定した航路を進むはずだった。しかしながら、競合船社の押し寄せる波や、国際航路への赤字、原油高騰などで、これまでの軽快な走りから、少しずつスピードが落ち始めたのだった。

戦後間もない頃、沖繩に一隻の船を誕生させた。当時はアメリカが沖繩を支配していたため、政治、経済、教育、多方面において米軍主導で政策が打ち出され、様々な分野の事業が再建した時期だった。米軍基地の拡大強化のもとに軍工事が急ピッチで繰り広げられた事や、民間貿易の再開によって大量物資が沖繩に流入し、沖繩の戦後復興に大きく貢献していき時代の先駆けとなる船出の旅が始まったのである。

もつて情熱あふれる日々を過ごさせている。今日も進んでいく、荒波が押し寄せようとも握りしめた舵をとり、これからも、皆への「夢とくらしと文化」をお届けしたい。

ささまざまな荒波に押し寄せ

いきたい。

**日曜随筆**

八重山諸島の玄関口ともいわれる石垣港に大型貨物船が入港し、フォークリフトやトレーラーが船内へと進入していき、コンテナを次々に降ろしていき。いわゆる荷役作業というものだ。荷役作業には、時間が限られている中にスピードと確実性を余儀なくされる中で安全面にも気を使わなければならない。彼らの作業

たてているのだ。戦後間もない頃、沖繩に一隻の船を誕生させた。当時はアメリカが沖繩を支配していたため、政治、経済、教育、多方面において米軍主導で政策が打ち出され、様々な分野の事業が再建した時期だった。米軍基地の拡大強化のもとに軍工事が急ピッチで繰り広げられた事や、民間貿易の再開によって大量物資が沖繩に流入し、沖繩の戦後復興に大きく貢献していき時代の先駆けとなる船出の旅が始まったのである。

島尻 高樹

夢とくらしと文化を運ぶ

幸先のよい船出から、旅は安定した航路を進むはずだった。しかしながら、競合船社の押し寄せる波や、国際航路への赤字、原油高騰などで、これまでの軽快な走りから、少しずつスピードが落ち始めたのだった。

戦後間もない頃、沖繩に一隻の船を誕生させた。当時はアメリカが沖繩を支配していたため、政治、経済、教育、多方面において米軍主導で政策が打ち出され、様々な分野の事業が再建した時期だった。米軍基地の拡大強化のもとに軍工事が急ピッチで繰り広げられた事や、民間貿易の再開によって大量物資が沖繩に流入し、沖繩の戦後復興に大きく貢献していき時代の先駆けとなる船出の旅が始まったのである。

もつて情熱あふれる日々を過ごさせている。今日も進んでいく、荒波が押し寄せようとも握りしめた舵をとり、これからも、皆への「夢とくらしと文化」をお届けしたい。

2017.4.23 八重山毎日新聞

## 新造船建造工事の様子～第35次船 にらいかないⅡ ～

現在、2隻目の新造船となる「にらいかないⅡ」の建造工事が、11月の竣工に向けて着々と行われています。春季号に引き続き、建造の過程をご紹介します！

### 《5月上旬》

しゅれいⅡが進水したので、ブロックを後方に移動しています。



### 《6月上旬》

船首（バルバスバウ）が造られ、船らしくなってきました。前方からの写真は、とても迫力がありますね！



### 《7月上旬》

船橋（ブリッジ）が搭載され、着々と完成に向かっています。  
（後方にRKK LINEが写るベストショット！）  
次号でついに・・・お楽しみに！



## 新しいゆいレールが那覇にやってきた！

7月10日、琉球海運本社向かいの那覇港にゆいレールがやってきました！

山口県の徳山下松港から不定期船「大峰山丸」に乗って運ばれたゆいレール4両は、クレーンによって横持ちされて運ばれていきます。

モノレール延伸工事も着々と進んでいることから、新しい車両の登場にさらに胸がワクワクしますね。  
（次に乗る車両は、もしかしたらこの新しい車両…かもしれないですよ！）



\* 画像は平成22年輸送時のものです

# COLUMN

## ーコラムー

### 『楽しんでまっか〜?』

総会も終わり、各社新体制で社業に邁進・・・するためのエネルギーチャージできてますか〜? 会社が存続するお陰で経済的基盤がつけられ、その上に私たちの「幸せな人生」を構築していく訳ですが、そここのころのバランスのととり方、大事ですよ。

楽しいことは向こうから飛び込んできてくれません、いや、楽しいことはそこそこに在りますが、くたびれていたり、アンテナを立ててないと見逃してしまうんですよ。

また、そもそも「私にとってのハッピー」とはなんぞや・・・という命題に取り組む機会が、私達「大人」には少ないですね。仕事、子供の教育、家のローン、親の介護等々すべきことのフィルターを通して“精一杯自分と向き合っているつもり”で流されている方がほとんどで、その場合、果してきた役割が終わると自分を見失うリスクが大きいというのは実感としてわかります。〇〇人間を自負している諸氏は要注意だそう。苦しいとき、眼は常に「外向き」で、他者との比較の中で擦り減り、自分を損なっています。不機嫌は大きな社会的損失である・・・という箴言もありますね。

「私」にとっての幸せ、ぜひ一度真剣に考えて、それを小さなタスクに分解し「行動」することをお勧めします。自分を取り戻し、ご機嫌になる為に使うお金は立派な「投資」です！ 楽しく過ごすことについて、女性は才能ありますね。私、今年もルアウというフライベントに参加しましたが、その日の為

に高価な美容液で磨きをかけ、煌びやかな衣装に生花で作った冠とレイを身に着け仲間達と出番待ちしていたところ、無垢で残酷な子供の声が・・・。「パパ〜! おばあちゃんたちが一杯だね〜」・・・。へ? おばあ・・・!? ま、そこは一瞬の脳内変換(私のことではないもんね〜)をして、何とか笑顔をキープしましたが、後ろの親が怯えて子供の手を引っ張って立ち去りました。

そうそう、先日とても心に残る映画を観てきました。90歳と87歳のご夫婦のドキュメンタリー「人生フルーツ」。コツコツと骨身を惜しまず淡々と生活を楽しむ様子を記録したその映画は、何となくうつうつとした気分をきれいに洗い流してくれました。キレイに生きてたらあんな風にキレイに逝けるんですね。

全ての人は年齢を重ね、何らかの病を得てあちらの世界にシフトしていく訳ですが、働き盛りの世代が生きる「勝者の理論」から、やがて身体を動かすこともままならない「弱者の視点」へ身を移す日を想像(病院へ行けばいつでも実例が見られます)することで得られる、謙虚さ、優しさをこれからコツコツ積み上げていきたいと思えます。これこそが“幸せ感度”をあげるのに最も有効・・・な気がするのです。

私たちは「私」の在り方を自身で決めることが出来る。有難いですね。

きょうはい 久場



## ビーチクリーンin豊崎美らSUNビーチ



六月三日、沖縄クリーンコーストネットワーク主催の「まるごと沖縄クリーンビーチ」に参加してきました。(青い海、白い砂浜など沖縄の豊かな自然を守っていきたくて願う、行政、各種法人、ボランティア団体、マリンスポーツ団体等が集うネットワークとして沖縄クリーンコーストネットワーク(OCCN)が組織されています)

毎年六月一日から七月三十一日までの二ヶ月間、沖縄県内の海岸等で各団体が清掃活動を実施しています。今回清掃したのは豊崎美らSUNビーチです。

海岸には流れついた海藻や流木、誰かが飲んだであろうペットボトルや眼鏡まで、いろいろなゴミが落ちていましたが、参加者全員の頑張りでもってキレイになりました。海岸清掃の後はバキューです。清掃後のビーチでのビールに肉は最高です。

親子で参加していた社員もあり、普段見ることのできない表情が垣間見えた日でもありました。参加された皆さんお疲れ様でした。

六月三日、沖縄クリーンコーストネットワーク主催の「まるごと沖縄クリーンビーチ」に参加してきました。(青い海、白い砂浜など沖縄の豊かな自然を守っていきたくて願う、行政、各種法人、ボランティア団体、マリンスポーツ団体等が集うネットワークとして沖縄クリーンコーストネットワーク(OCCN)が組織されています)

毎年六月一日から七月三十一日までの二ヶ月間、沖縄県内の海岸等で各団体が清掃活動を実施しています。今回清掃したのは豊崎美らSUNビーチです。

海岸には流れついた海藻や流木、誰かが飲んだであろうペットボトルや眼鏡まで、いろいろなゴミが落ちていましたが、参加者全員の頑張りでもってキレイになりました。海岸清掃の後はバキューです。清掃後のビーチでのビールに肉は最高です。

親子で参加していた社員もあり、普段見ることのできない表情が垣間見えた日でもありました。参加された皆さんお疲れ様でした。



# 那覇ハーリー

五月五日「第四十三回  
那覇ハーリー」に琉球海  
運グループとして出場し  
ました。

昨年のレースは、練習  
を一度もできないまま出  
場し、本番では隣のコー  
スを走る舟とあわや衝突  
...というアクシデント  
もあり、残念な結果に  
終わってしまったため、  
「今年こそはリベンジ  
を」と意気込んでの出  
場となりました。

今回の結果は三チーム  
中二位と、一位には届き  
ませんでした。昨年より  
は良い結果となりました。  
レース終了後は恒例の  
バーベキューです。疲れ  
た体には、お酒とお肉の  
美味しさもひとしおです。  
来年こそは一位を狙っ  
て頑張ります！



石塚ファミリー♪



社員の奥様方も参加です♪



沢山飲んでま〜す!



いざ! 海原へ!



出発前の練習



肉を焼きまくる男達



子ども達も沢山  
食べてます♪



来年も頑張ろう!!

